

レジメン番号	0457	レジメン名	R-THP-COP(1日間)
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、ピノルビン、エンドキサン、オンコビン、プレドニゾロン
がん腫	多発性骨髄腫	インターバル日数	21日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 (/)	…Day21	Day1 (/)
リツキサン/リツキシマブ BS (R) 375 mg/m ²	点滴	mg	↓	3週間を1コース	↓
エンドキサン(CPA) 750mg/m ²	点滴	mg	↓		↓
ピノルビン(THP-DXR) 50mg/m ²	点滴	mg	↓		↓
オンコビン(VCR) 1.4mg/m ² (最大 2mg/body)	点滴	mg	↓		↓
プレドニゾロン(PSL) 100mg/body または 50mg/m ²	経口	mg	D1~5		D1~5

(支持療法)

※1 経口剤あり

A) アロキシ(0.75) B) グラニセトロン(1)	点滴	○ mg	↑	3週間を1コース	↑
--------------------------------	----	---------	---	----------	---

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS	100mg	生食で 10 倍希釈	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg		
②エンドキサン	100mg	生食 250ml	60分/点滴
	500mg		
③ピノルビン	10mg	5%ブドウ糖液 100ml	30分/点滴
④オンコビン	1mg	生食 50ml	5分/点滴
⑤ アロキシ または グラニセトロン	0.75mg	生食 100ml	15分/点滴
	1mg		
⑥5%ブドウ糖液	250ml		メインルート/点滴

投与間隔≫ (メインルート/持続) ※2 (側管) (側管 15分) (側管 5分) (側管 30分) (側管 60分)

投与順番≫ ⑥ → ① → ⑤ → ④ → ③ → ② → 終了

【コメント】

※1 解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時は、最初の 30 分は 50mg/時の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、その後注入速度を 30 分毎 50mg/時ずつ上げて、最大 400mg/時まで速度を上げることができる。

また、2 回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/時まで上げて開始し、その後 30 分毎に 100mg/時ずつ上げて、最大 400mg/時まで上げることができる。